

夏季の大会運営 [熱中症対策] について

成田市少年野球連盟

- ① 各チーム及び各家庭は、選手の健康観察を随時実施し、体調が十分でない者を出場させない、またはチームに帯同させないこと。
- ② 試合実施に同意出来ないチームは、試合開始 2 時間前までに本連盟 LINE（または事務局）に棄権の連絡をすることとし、連絡が無い場合は、試合実施に同意したとみなし、試合を実施する。
- ③ 試合が実施されても、両チームの監督からの要請及び当該球場責任者・責任審判員の判断で試合を中断することが出来る。
中断後の試合については、当該球場責任者・責任審判員が両チームの監督を招集し協議して、同日中に再開するか、同日中に棄権するか決定する。
- ④ 2 回裏及び 4 回裏終了時に 5 分間の休憩時間を設けるが、当該球場責任者・責任審判員がさらに必要だと判断した場合は、これにこだわらず臨機応変に対応する。
なお、打者一巡を目安に守備側の選手に水分を補給させることとするが、この時間は試合時間に含むものとする。
- ⑤ 試合時間は、1 時間 30 分（低学年大会は 1 時間 15 分）に休憩時間分を延長した時間になる。
- ⑥ 帯同審判については、各チーム 1 名以上の控え審判員を用意する。
- ⑦ 各会場 1 日 1 試合とする。
- ⑧ 試合開始は 8 時 30 分とする。ただし、開会式や会場事情により 8 時 30 分開始が難しい場合は、準備出来次第試合を開始する。
- ⑨ 審判は、相対で行う。（試合を行うチーム同士で審判を出し合っで行う。）
- ⑩ 外気温度が 35℃を超えたら試合を終了する。終了時に 4 回（低学年大会は 3 回）均等回終了後であれば、コールドゲームを適用。その前であれば、後日継続試合を行う。
- ⑪ 外気温度 35℃は、yahoo 天気で確認決定する。（確認は随時行う。）
- ⑫ 日程も含めて大会継続が困難と運営側で判断した場合は、大会を中止する。
- ⑬ これに限らず、試合の順延及び中断、または大会中止も含めて柔軟に対応する。
- ⑭ 大会開催（参加）が原因で事故が起きても、本連盟は一切その責任を負わない。

令和 6 年 7 月 27 日